

# 下水道は川をきれいにする!!

河川の水質保全、環境衛生に不可欠な下水道。これまで整備が遅れていた南国市でも、昨年四月より稼働している十市浄化センターや来年度と徐々にではありますが整備されてきています。

それでは、下水道ができる私たちの生活にはどんな利点があるのでしょうか。

## 生活環境を

### よくします

私たちは、炊事、洗濯、風呂、トイレなどに一日当たり約二五〇リットルの水を使用し、様々な形で川などに流しています。これまで、こうした家庭排水や工場排水のために、街も自然もすいぶん汚されてきました。この生活排水は、BOD量で見ると一人当たり

し尿が二リットルなのに、生活排水は三リットルにもなっています。しかし、下水道は、家庭の台所、風呂などの生活排水がドブや溝に流さず、また、トイレは水洗化となるので、蚊やハエ、異臭を防ぎ、環境をよくします。

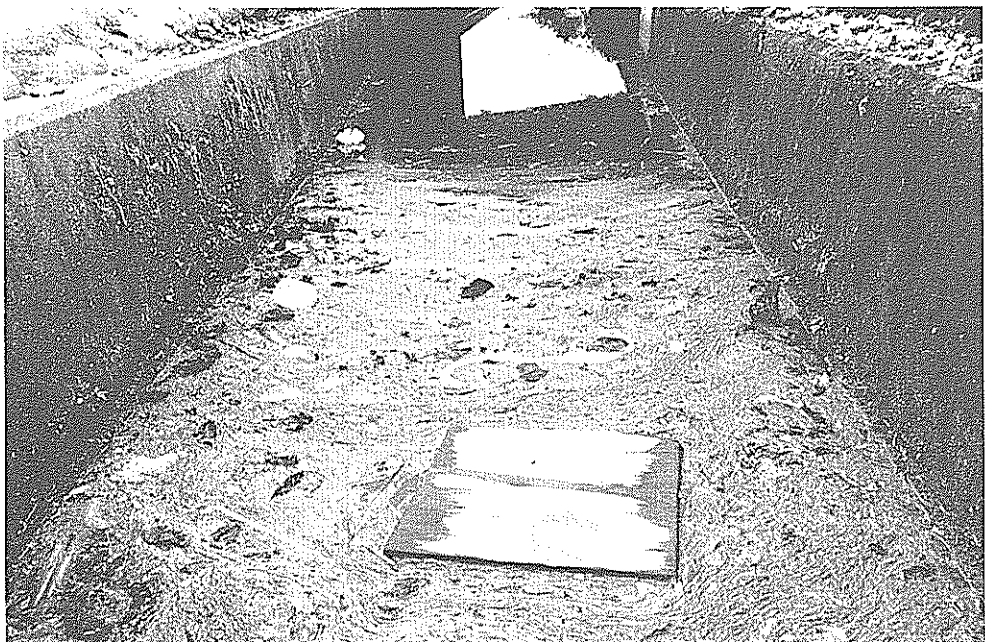
※BOD（生物化学的酸素要求量）：水中の有機物が微生物の働きによって分解される時に消費される酸素の量で、河川の有機汚濁を測る代表的な指標

## 河川などの汚濁を防ぐ

河川には流入した有機物質を無機質に変えていく「自浄作用」があります。しかし、河川の自浄作用を超えて有機物質が流入すると、有機物質は腐敗し「ドブ川」になってしまいます。この河川汚濁の主な原因は私たちの日常生活に由来する生活排水で、その割合は市街地周辺の中小河川では六〇％を超えています。こうした河川、海域の水質汚濁により、有機物質による健康被害のほか、生活環境面や利水面でもさまざまな被害を受けています。

下水道は河川を汚濁する主要原因のこれらの汚水を処理するので、河川などは本来の清澄さを取り戻します。

こんなに汚していいのですか



## 水洗トイレになると

●そうじが簡単になり、衛生的で悪臭のない清潔な暮らしになります。

●幼児や老人が安心して使用でき、腰掛式を使うと高血圧

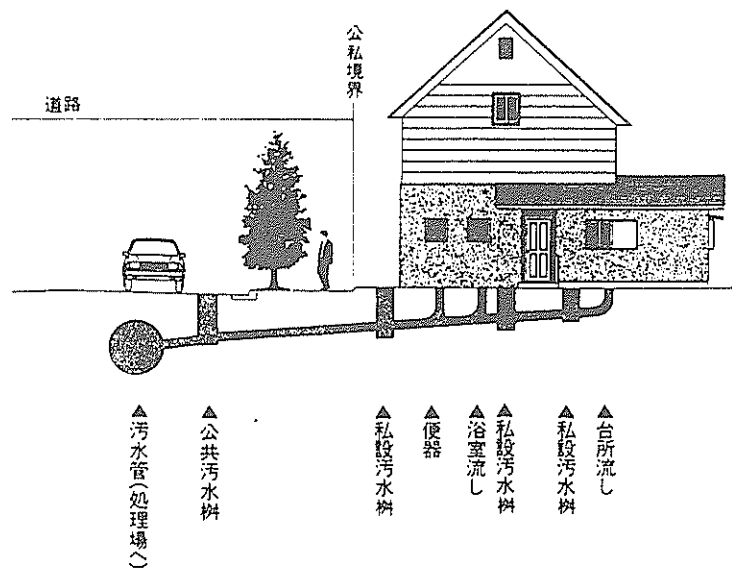
や痔の予防にもなります。

●浄水槽がなくなり、維持管理が不要になって敷地も広くなります。

●ドブ川などがなくなり蚊やハエの発生を防ぎ伝染病を予防します。

●川は本来の姿を回復し、魚や生物の住む豊かな自然環境が守られます。

## 生活污水は直接処理場へ



- ▲台所流し
- ▲私設汚水樹
- ▲私設汚水樹
- ▲浴室流し
- ▲便器
- ▲私設汚水樹
- ▲公共汚水樹
- ▲汚水管(処理場へ)

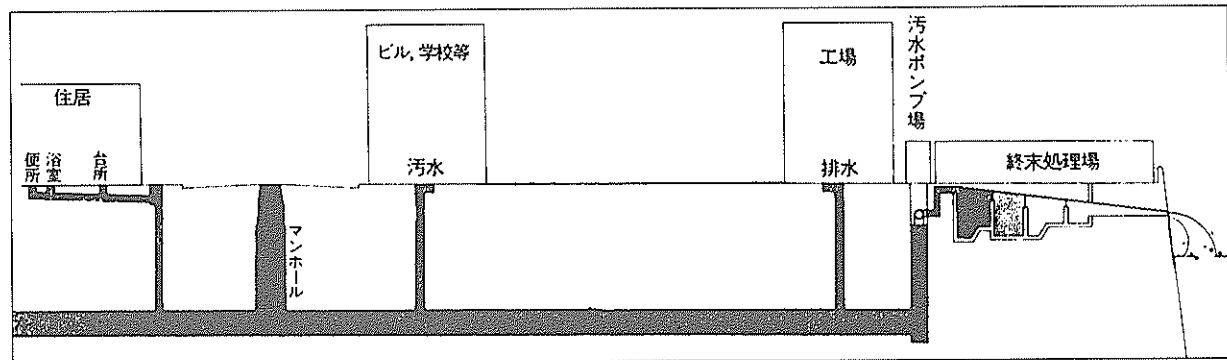
## 下水処理のしくみ

下水道は大別して①生活汚水、工場排水や雨水を流すための下水管、②流れてきた汚水、雨水などをくみ上げるポンプ場、③集められた汚水を衛生的に物理・生物化学的に処理する最終処分場の三つの施設から成り立っています。

◎管きよ  
管きよは、地中に埋設された塩化ビニール製や鉄筋コンクリート製などの円形管、矩形きよがあります。

◎ポンプ室  
ポンプ場は、管きよによって集められた汚水をくみ上げて、スムーズに最終処分場へ送る施設です。

◎最終処分場  
最終処分場は、下水道の心臓部ともいえるべきもので、汚水を物理・生物化学的に処理し、水質公害の心配ないきれいな水質に浄化して放流します。



## 浦戸湾東部

### 流域下水道

(南国市分)

- ▼計画処理面積 八七一畝
- ▼計画人口 三万二千五百十人
- ▼計画汚水量 日量二、三七〇立方メートル
- ▼計画流入水質 BODⅡ一 一リットルあたり二〇〇ミリグラム、SSⅡ一 一リットルあたり二〇〇ミリグラム
- ▼計画処理水質 BODⅡ一 一リットルあたり二〇リットル以下、SSⅡ一 一リットルあたり三〇リットル以下
- ▼計画処理面積 六一畝
- ▼計画人口 六千人
- ▼計画汚水量 日量一、六四〇立方メートル
- ▼計画流入水質 BODⅡ一 一リットルあたり二〇〇ミリグラム、SSⅡ一 一リットルあたり二〇〇ミリグラム
- ▼計画処理水質 BODⅡ一 一リットルあたり二〇リットル以下、SSⅡ一 一リットルあたり三〇リットル以下

## 十市浄化センター

- ▼計画処理面積 六一畝
  - ▼計画人口 六千人
  - ▼計画汚水量 日量一、六四〇立方メートル
  - ▼計画流入水質 BODⅡ一 一リットルあたり二〇〇ミリグラム、SSⅡ一 一リットルあたり二〇〇ミリグラム
  - ▼計画処理水質 BODⅡ一 一リットルあたり二〇リットル以下、SSⅡ一 一リットルあたり三〇リットル以下
- ※SS（浮遊物質）：にこりの成分